

4月から学研教室の中学英語教材がリニューアル!

2021年4月から、中学校の英語が大きく変わります。

授業の内容が変わり、レベルもぐんと高くなります。どのように変わるのか、ご存じですか？

Check!

授業が変わる！ 中学校でもオールイングリッシュ!?

すでに高校の英語の授業は「英語で行うことを基本」としていましたが、来年度から中学校でも導入が始まります。これまで以上に英語を聞いたり、英語で話したりする機会が増えます。

また、授業は英語によるコミュニケーションを多く取り入れた内容になります。英語の知識を身につけるだけでなく、「英語を使いこなす」力がますます求められるのです。



Check!

テストが変わる！ パフォーマンステストって？



これまでテストと言えば、リスニング・リーディング・ライティングの力を測るものが中心でしたが、検定試験や高校入試で、スピーキングテストが徐々に導入されてきています。

また、中学校では紙のテストだけでなく、英語で自分の意見や考えを表現する力を測るパフォーマンステストも導入されます。答えが一つではない課題に対応する力が必要とされるようになります。

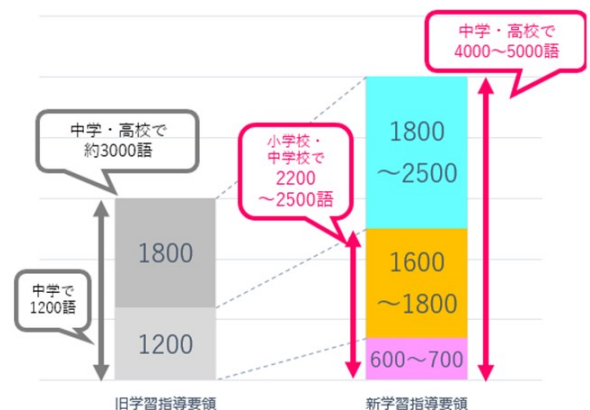
Check!

単語数が約2倍に！ 現在高校で扱っている内容も一部中学へ。

これまで、中学3年間で約1200語を学習していましたが、2021年度からは、小学校で学習する単語と合わせて中学卒業までに2200~2500語を学習することになります。

また、仮定法や原形不定詞など、これまで高校で学習していた文法項目の一部を中学校で学習するようになります。

単語、文法項目を含めた学習内容がこれまでより増加します。



学研教室の中学英語はどうなるの？ 特長を確認！

中学生だからこそ 学研教室で英語を学ぼう！

学校の授業では、**先生が一人ひとりに十分な時間をかけてサポートするのは難しい……**。
一斉授業の詰め込み型の塾では、**知識は得られても、英語を使える技能は得られにくい……**。
学研教室の新しくなった英語教材なら、充実の個別指導で「使える英語」を身につけられます！

Point

あなたに合った丁寧な指導で「使える英語」を身につける！

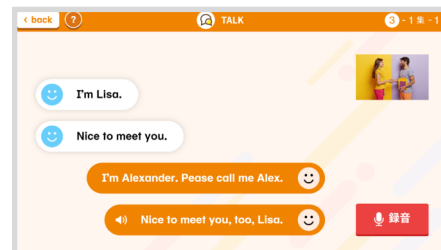
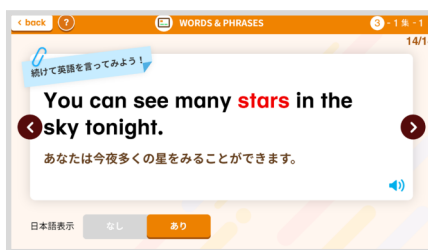
学研教室の中学英語コースでは、リスニングやリーディングはもちろん、英作文や英会話など、一人ひとりの英語の表現力を伸ばす指導もおこないます。週に2回**先生と一対一で英語でコミュニケーション**をとれるので、**パフォーマンステストも安心！** 練習を積み重ねることで、自然と英語が身につきます。

もちろん、**新しい中学校での英語教育にも対応**。中学卒業まで安心して学習できます。



Point

リスニングもスピーキング練習もできる！ 充実の「デジタル教材」



デジタル教材には、リスニングはもちろん、単語の確認や録音機能を用いたスピーキング練習など、英語を使えるようになるための工夫がもりだくさん！ いつでもどこでも、くり返し英語に触れられます。

※宿題でデジタル教材を使用します。2021年4月より、CD教材からデジタル教材に完全移行しますので、リニューアル前に以下の推奨環境のご用意をお願いいたします。

推奨環境

スマートフォン または タブレット	●iPhone、iPadの場合：iOS11.0以降 ●Androidの場合：Android6.0以降 ※教材の二次元コードを読み込むためには、専用アプリ「学研教室クラウドルーム」をインストールしていただく必要があります。 ※一般の二次元コード読み取りアプリではご利用いただけません。
パソコン	●OS Windows10（日本語版）以上 ※macOS はサポート対象外です。 ●ブラウザ：Google Chrome ※Internet Explorer ではご利用いただけません。※音声認識機能を使用する際に、音声入力用のマイクが必要です。

※スマートフォン・タブレット・PC いずれの場合も、ご利用にはインターネット接続環境が必要です。 ※通信費は利用者様のご負担となります。
※データ通信量に制限のないWi-Fi のご利用をお勧めします。

安心の定期テストサポート

高校入試で重要な内申点には、ふだんの授業はもちろん、定期テストの結果が大きく影響します。
学研教室では、**教科書の内容を徹底カバーした“定期テスト専用教材”**で、定期テスト対策もしっかりできます！